【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【公開番号】特開2015-222329(P2015-222329A)
【公開日】平成27年12月10日(2015.12.10)
【年通号数】公開・登録公報2015-077
【出願番号】特願2014-106460(P2014-106460)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/01　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/01　Ｙ
Ｇ０３Ｇ　21/00　３８４
Ｇ０３Ｇ　21/00　３９８
Ｇ０３Ｇ　15/01　１１４Ａ
Ｇ０３Ｇ　15/16

【手続補正書】
【提出日】平成29年5月15日(2017.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
回転駆動される転写体と、
前記転写体に第１画像を形成する第１画像形成手段と、
前記転写体の回転方向において前記第１画像形成手段とは異なる位置に配置され、前記転写体に第２画像を形成する第２画像形成手段と、
前記転写体の回転方向と直交する方向における前記転写体の第１位置を検出する第１検出手段と、
前記転写体の回転方向において前記第１検出手段とは異なる位置に配置され、前記転写体の回転方向と直交する方向における前記転写体の第２位置を検出する第２検出手段と、
前記第１画像と前記第２画像との間の色ずれ量を減少させる様に、前記第１位置と前記第２位置とに基づき前記第２画像の形成位置を制御する制御手段と、
を備えており、
前記制御手段は、単色の画像を形成する際に、前記第２画像の形成位置を制御しないことを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記第２位置に基づき前記転写体の回転方向に対する前記転写体の傾きを調整する調整手段をさらに備えており、
単色の画像を形成する際に、前記第２検出手段及び前記調整手段は動作し、前記第１検出手段は動作しないことを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記制御手段は、単色の画像を形成する際に、前記第１検出手段への給電を停止することを特徴とする請求項２に記載の画像形成装置。
【請求項４】

前記第２位置に基づき前記転写体の回転方向に対する前記転写体の傾きを調整する調整手段をさらに備えており、
単色の画像を形成する際に、前記調整手段は、前記転写体の回転方向に対する前記転写体の傾きを調整することを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項５】
前記転写体に形成された画像をシートに転写する転写手段をさらに備えており、
前記制御手段は、前記シートへの前記第２画像の形成位置の要求精度が所定値以上であると、単色の画像を形成する際にも前記第２画像の形成位置を制御することを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項６】
前記転写体に形成された画像をシートに転写する転写手段をさらに備えており、
前記転写体はベルトであり、
前記調整手段は、前記ベルトをサポートするローラの方向を調整し、
前記転写体の回転方向において、前記第２検出手段の位置は、前記第１検出手段の下流側、かつ、前記ローラの上流側であり、前記ローラの位置は、前記転写手段の上流側である、ことを特徴とする請求項２から４のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項７】
前記第１検出手段及び前記第２検出手段は、前記転写体の端部を検出することを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本開示は、転写体の傾きに起因する色ずれの補正技術に関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の一側面によると、画像形成装置は、回転駆動される転写体と、前記転写体に第１画像を形成する第１画像形成手段と、前記転写体の回転方向において前記第１画像形成手段とは異なる位置に配置され、前記転写体に第２画像を形成する第２画像形成手段と、前記転写体の回転方向と直交する方向における前記転写体の第１位置を検出する第１検出手段と、前記転写体の回転方向において前記第１検出手段とは異なる位置に配置され、前記転写体の回転方向と直交する方向における前記転写体の第２位置を検出する第２検出手段と、前記第１画像と前記第２画像との間の色ずれ量を減少させる様に、前記第１位置と前記第２位置とに基づき前記第２画像の形成位置を制御する制御手段と、を備えており、前記制御手段は、単色の画像を形成する際に、前記第２画像の前記形成位置を制御しないことを特徴とする。